

令和5年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2024.2.20(火)

事業コード	23-G-11	学校名	各務原市立那加第一小学校		住所	各務原市那加手力町22-5
実施日	12月12日(火) 13:30~15:45			受講児童生徒数	130名(6年生)	
開講職種数	9職種	指導者数	15名	参観保護者数	3名	

学校アンケートの結果

- 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか
→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください
→
 - ・児童たちが職業の体験活動を行うことができるのは、とても素晴らしいことだと思いました。このような機会を頂き、とても感謝しています。菓子製造では予定より多くのお菓子を製作していただき、児童が大変喜んでいました。(その他、「ものづくり体験活動」に対する要望・意見として)
 - ・職業講話が連続して50分を超え、体験活動の時間が1時間も取れなかった職種があった。講師の先生方に対して、時間配分の徹底をお願いしたい。
 - ・体験活動中に、のこぎりの替え刃が外れて、けがをした児童がいた。道具の安全点検をお願いしたい。

会場担当教員アンケートの結果(9会場の先生)

- この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか
①大変よく伝わった → ②ある程度伝わった →
③あまり伝わらなかった → ④全く伝わらなかった →
- 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください
→
 - ・6年生は地域の方を講師に招いて様々な職業についての話を聞く授業を仕組んでいます。今日の授業のような体験をさせたり、話を聞いたりする場を設け、職について考えさせていきたいです。(仕上げ会場)
 - ・児童が将来に抱く夢や未来が想像しにくい、持ちにくい時代になってきている。そういった中で今回のように具体を示せるものは良いと思う。日常生活とどのように関わっているのか説明できることが良いと思う。(電子機器組立て会場)
 - ・今回、実際に和菓子を作らせていただけ、店に並んでいるお菓子をこんな風に手作りしていたのだと実感するいい機会だと思いました。ただ、これを機会に技能者を目指すかという、それはごく少数になると思います。興味をもてた人に次の紹介をしていただけたらと思います。(菓子製造会場)
 - ・講師の方の講話は大変素晴らしいと思ったが、小学生は職業に対する認識がまだ浅いので、体験活動や作品作りのコツを学び、職業の楽しさ、面白さをさらに強調して頂けたら良いのではと思いました。(建築大工会場)
 - ・小学生には、表装もそうであるが身近にはない仕事である。だからこそ、そういった仕事に携わる人の講話や体験は、キャリア教育として必要であると考え。地元の方だったので、とても身近に感じる事ができた。(表装会場)
 - ・職業に対する意識が低く、表面的な華やかさや楽な方、楽しい方に流されてしまう。今回のような体験を機に楽しさを知り、興味をもっていけると良いと思う。(広告美術仕上げ会場)
 - ・普段体験できないことをさせていただき、学習以外でも、技能を身につけていくことで、自分の将来につなげていくことができる、ということを学ばせていただきました。(フラワー装飾会場)

指導者アンケートの結果（9職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
 ②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった
 ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
 ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

8
1

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がありましたら、お聞かせください

- ・日本は歴史的に見て常に加工国であり、海外から原材料を購入し、国内で製造し、その仕上がり製品の大部分を海外に売却している。これには我々のものづくり産業が貢献しており、ものづくり職人の育成が重要となっています。しかし残念ながら現在の日本では、なかなか工業の道に進む(大学で言うと理工系学科に進学する)人が少ないのが現状です。今回のような体験授業を開催することにより、小学生のうちから工業系に興味を持つ人材を育てるのは、大変大事な授業だと思います。(仕上げ職種)
- ・自分の技能・技術を発揮して良いものづくりが出来た時が一番嬉しく、楽しい事だと思います。その物を何にするのか、また工作・作業をどこまでやらせるかが大変難しい。結果として、良い物が作れないと達成感がありません。自分で考え実践し、やりきる楽しさを教えたいと思います。(電子機器組立て職種)
- ・子ども達が目を輝かせてお菓子づくりをしている姿が印象的でした。子ども達が体験授業を通して、ものづくりの喜びや魅力を知ることが、とても大切で素晴らしいことだと思います。この取り組みがこれからも続くことを期待しています。
- ・短時間でしたが、はじめは遊びからでしたが、授業が進むにつれ、お菓子づくりへの関心が少し芽生えたように感じました。(以上、菓子製造職種)
- ・学校での指導の場所があり、先生が見え、学校の教育の一環として体験授業を行うことが一番だと思う。指導者も、せっかく指導員の資格を得ても今は発揮できる場面が少ない。また、報酬にしろ個人としての参加は年1~2回とのこと。恩返しのつもりで、ボランティアでもという心がけが必要ではないか。報酬が半額なら、もっと多くの学校で出来るのではないだろうか。
- ・ものづくりを優先してしまい、道具の使い方の指導が足りなかった。初めて使う道具、また切れ物だから、全員に使い方の指導をしてから、ものづくりに入れればよかったと思いました。(以上、建築大工職種)
- ・人材育成はとても難しい課題ですが、この事業を通して置産業の情報発信が出来ることは、業界としてありがたい事業です。
- ・ミニ量を作ったが、思いの外喜んでくれている様子でした。和室がないお宅もあると思われるので、量が新鮮にみえたのかもかもしれません。(以上、量製作職種)
- ・後継者不足は「表具」の業界も危機的状況にあると思います。20年後は一体どうなっているんだろうと不安になります。そんな中で今回のような学校での授業の中で「表具屋の仕事」を子供たちに知っていただけたことは、とてもいいことだと感じました。やるかやらないか、何か動いていかないと、職人がどんどん減っていくと思います。(表装職種)
- ・現状広告業界は、コンピューター(MCイラストレーター)の発展により、技能者が高齢化して現場文字書きの職人が不足していて、大きな文字書き(IOM角)の出来る人が減り、結果として遠くの現地へ書きに行っているのが現状です。また、コンピューターを購入すれば誰でも広告業者となれて、届出申請がないために、勉強不足の違反看板が横行しています。
- ・基本的に学校で使用する筆は、絵筆なので、レタリングには不向きで、「ゴジク筆」があればもっと上手に書け、より自信が付き、より楽しかったと思います。(以上、広告美術仕上げ職種)
- ・学校によって随分と温度差があるように思う。それは仕方のないことかもしれないが、小学生ということもあり、将来の職業に対してもまだまだ関心度も少ないのかもしれない。(フラワー装飾職種)
- ・IT人材が不足している昨今において、今後さらなる人材不足が予測されております。小学生段階からITに興味関心をもってもらうことは将来的にも重要であり、この事業はまさにその課題を解決する取り組みであると思います。事業の継続と拡充を期待しています。
- ・これまでの体験授業では、児童の体験活動が主な内容でしたが、今回仕事の一部を実際に見てもらう機会があり、とても興味を示していました。今後の体験授業に取り入れたいと考えています。(ロボットソフト組込職種)
- (その他、改善・要望事項として)
- ・12月はどの職種も一年間で最も忙しい時期なので、できれば12月の第2週以降の開催は避け、それ以外の時期に計画してほしい。(すべての職種)
- ・昨年イベントとして実施した2月の時に比べると、図工室前からの搬入は、資材の持ち運び経路も短くなっていて助かった。しかし、体験授業終了後はどの職種の指導者も仕事に戻らなければならないので、搬入後はそのまま通路に駐車させてほしい。搬入後、かなり離れた駐車場へ移動し、また搬出のために車を狭い通路に入れるのは、時間的にも労力的にも大変であった。(建築大工・フラワー装飾・表装・量製作・仕上げ・広告美術仕上げ・電子機器組立ての各職種)
- ・今回、4つの職種で普通教室を会場として使用したが、給食後ということもあって、満足できる準備ができなかった。衛生上、資材を教室前の廊下まで搬入するときも、気を遣って行い、また指示された準備開始時刻(12:40)になっても学習活動が続いている教室もあり、入りづらい環境であった。この時間は先生方も衛生上の配慮をしたり、児童への指導などで、いろいろ大変多忙な時間と思われるので、一般教室の使用は避け、すべて図工室や理科室などの特別教室を会場として計画してほしい。(フラワー装飾・量製作・広告美術仕上げ・電子機器組立ての各職種)

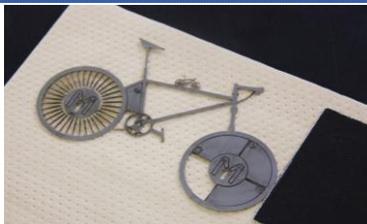
会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

	仕上げ	電子機器組立て	菓子製造	建築大工	畳製作
指導者数	2	1	1	3	2
受講児童生徒数	14	14	14	16	16
回答	とても満足した	13	9	13	13
	ある程度満足した	1	5	1	3
	あまり満足できなかった	0	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0	0
	合計	14	14	14	16

	表 装	広告美術仕上げ	フラワー装飾	ロボットソフト組込	合計(左:人 右:%)	
指導者数	2	1	1	2	15	
受講児童生徒数	15	15	15	11	130	
回答	とても満足した	13	9	11	101	77.7
	ある程度満足した	2	6	4	29	22.3
	あまり満足できなかった	0	0	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0	0	0
	合計	15	15	15	11	130

仕上げ会場の様子



先生の感想

実際に体験する事の大切さを改めて感じました。近年どんなものも簡単に動画を見る事が出来る環境ですが、金属に刻印するときの手ごたえ、実際に握った道具の重さや力加減、道具の感触など、動画を見るだけでは分からない多くのことを体験授業を通して感じる事ができました。子供たちは、より上手く作業をするコツを自分で見つけ出しながら作品が出来上がっていくことを素直に喜んでいました。道具や材料の準備、教室のコーナーの設定など、子供たちが体験を楽しむための準備が十分にされていたことには感謝しかありません。

児童生徒の感想

- ・mm単位で測れる器具・機械がすごいと思い、とても印象に残っている。
- ・バイクオブジェを磨いてきれいになったことがとても楽しかったし、印象的だった。
- ・やすりがけがとても大変だったが、とても楽しく学ぶことができた。
- ・今まで見たことのない道具でオブジェを作ったのが印象に残ったし、思い出になった。

電子機器組立て会場の様子



先生の感想

- ・発光ダイオードの仕組みや発電の仕方がよくわかりました。
- ・扇風機でプロペラを回すと発光ダイオードが光ったのが面白かった。
- ・左右田さんの仕事(トヨタ)や、仕事に対する情熱や生き方についても話してもらえ、勉強になった。
- ・子供たちが将来、進路を考えるのに役立つと思う。
- ・児童の安全に関わる指導は万全だったので心配いりませんでした。ただ、実際のものづくりは失敗からの学びもあるかと思いますが、本日の講義では無用であると思います。
- ・1つの成功体験として、全員が発光ダイオードを点灯させたのはお見事でした。

児童生徒の感想

- ・風力発電製作を通して、初めての体験や新しい知識を得ることができた。
- ・製作体験の内容も楽しかったし、これからの生活に役立つことを教えてもらえ、とても良かった。
- ・発光ダイオードを接続するときに、はんだ付けしたことが印象に残った。また人生のことについても詳しく分かりやすく教えていただいた。
- ・職業講話が心に残った。例えば「失敗してもチームで気を付けてやるのが大切」という言葉が印象的だった。
- ・今までは電気で発電することしか知らなかったが、風力で発電もできると分かり、良い知識になった。

菓子製造会場の様子



先生の感想

- ・まずは、和菓子について児童がどの程度知っているかを確認していただけた。和菓子にもいろいろな種類があること、児童の好きなあんこの種類などにも触れ、児童は興味深げに話を聞いていた。
- ・1年間で一通り覚えることができると言いながらも、京都で10年間修行をしたという話から、仕事を覚えても極めるまでこだわって修行をされていたことが分かった。職業に対する、意識の高さを学ぶことができた。
- ・実際に上生菓子を作っていたときに、作り方のコツを分かりやすく説明していただけた。その後、児童が自分で作るときには、そのコツを思い出しながら熱心に作っていた。自分の頑張りを認めていただけたのが、とても嬉しそうであった。
- ・みんなが頑張って、早くできたからと、もう1種類作らせていただけた。児童は、自分で作ったお菓子を大切に持ち帰っていた。家族に食べさせたいと、楽しみにしていた。
- ・児童は、教えていただいたことを再現することで、美しい和菓子を作ることができ、大変満足していた。とても良い体験をさせていただけたと思う。

児童生徒の感想

- ・ねりきりを作るとき、お花(菊)の花びらみたいに細かく線を入れるのが印象に残った。
- ・家に帰って美味しく食べた。とても美味しかったのでまた家で作りたいと思った。やりたかったことは、鍋などを使って和菓子を作りたいかったです。
- ・お菓子が上手に作れなくて残念だった、しかし、上手くなるには「慣れ」ということを聞き、自分もいつか上手く作れるようになると良いなと思った。
- ・初めて作った和菓子だったが、先生が実演して教えてくれてとても分かりやすかった。

建築大工会場の様子



先生の感想

- ・講師の先生方のお話は、建築現場での体験をもとに説明されているので、とても説得力がありました。さしがねや、巻き尺等の実物を提示しながら説明されていたので、児童は大工の仕事に興味をもって聞いていました。
- ・体験活動では、丸太切り、かながけ、ドリルによる穴あけ等を一つ一つ丁寧に実演をしながら指導していただき、最初は丸太切りに悪戦苦闘していた児童もコツを覚え、スムーズに切ることができていました。
- ・かながけでは、薄く均等に削る職人技に児童たちは感動し、何度もかながけに挑戦する姿がみられました。児童たちにとって初めて経験することでしたが、丁寧に仕上げる大切さを学び、どの児童も目を輝かせて取り組んでいました。
- ・自分で切った丸太のペン立てを、サンドペーパーで磨き、完成した作品を大切に持ち帰る姿から、本日の活動からものづくりの楽しさを学ぶことができたと思いました。

児童生徒の感想

- ・かながけをやってみて、先生が削ったものと、私が削ったものを比べると、何年もやっている職人さんのほうがやっぱり上手だと思った。
- ・かな削りは、なかなか力の入れ方が難しかった。インパクトドライバーは振動が凄かったし、墨付けなど色々なことを学べた。
- ・ノコギリを使って丸太を切る時、意外に時間がかかったことが印象に残った。

畳製作会場の様子



先生の感想

- ・スモールステップで製作が進められ、どの児童も戸惑うことなくミニ畳づくりを楽しむことができた。自分の手で、ミニ畳を製作できた満足感はとても大きい。
- ・大量に製作して販売する方法ではなく、一人一人との対話を大切に、その人に合った畳を製作していることに驚きを感じた児童が多かった。その人のニーズに合った畳を製作し、うち直しを行うことでつながり続けていく仕事ぶりに感動する児童もいた。
- ・厳しい修行を経て、技術を磨き店を持ったこと。そして、20年たった今でも師匠のもとで技術に磨きをかけ続けていることを知り、児童の職業観が大きく広がった。

児童生徒の感想

- ・畳のへりは約1000種類もあることがビックリした。また、ダルマなど、面白そうでみんなが知っているような柄がたくさんあった。
- ・ミニ畳を作るとき、タッカーでほぼほぼ全部出来たから、家でも小さい作品なら、簡単に出来そうだった。
- ・印象に残っていることは畳の匂いについてで、リラックス効果もそうだが、集中力も上がるということを知った。
- ・ミニ畳にゴザを被せるときが意外と難しくそれが一番印象に残っている。
- ・畳の効果など詳しく教えてくださりとても良かった。畳のへりが今まででどれくらいの数が捨てられ、残っているのかが気になった。

表装会場の様子



先生の感想

- ・表装の仕事について、ホームページを利用しながらわかりやすく説明して下さるとともに、実物も見せていただき、子供たちはどのような物を作っているのか聞き入っていた。実物は、大きなものもあったが、持ってきていただき大変良かった。
- ・仕事の苦勞の中で、近年、和室が少なくなっていることについて話をされた。だからこそ、日本の伝統を守っていきたいというマイスターの強い思いを知ることができた。また、日本の伝統を海外に広げたいという思いも知ることができた。
- ・体験授業では、どのように飾りをつけようか試行錯誤し、自分だけの作品ができて大喜びだった。
- ・子供たちは、わしを自分の思いに合った形に切り取るなど工夫して飾りつけをしており、それをマイスターの先生が褒めてくださって、とても嬉しそうだった。
- ・自分で作った作品を大切に持ち帰っていた。とても楽しかったと満足そうであった。

児童生徒の感想

- ・今の日本に和室が少なくなってきたり、逆に外国に和室が増えてきていることを始めて知れて良かった。
- ・初めて「表装」の作品を作ったけど、作り方も簡単で楽しかったのでまたやりたいと思った。
- ・私の将来の夢とは違うことだったが、普段あまりやれないことをやれたり、ものをつくるのは好きだから嬉しかった。
- ・「表装」と聞いて、最初はどんな仕事なんだろう？と思ったが、こんなに楽しい仕事なんだと思い、とても楽しかった。
- ・もっと色々なイメージのタペストリーをいっぱい作りたかった。
- ・私が印象に残ったのは、表装の「やりがい」について。自分は、表装のことはあまり知らなくて、どんな仕事なのかもわからなかったが、話を聞いてとてもやりがいのある仕事だなと思い、一番印象に残った。

広告美術仕上げ会場の様子



先生の感想

- ・マイスターさんがその場で文字を書いてくれることで、技術の高さを実感することができた。
- ・習字とは違い、二度書きして訂正してよいことを先に伝えてくれたので、思い切って取り組むことができた。
- ・誰でも同じように書くことが出来るように書き方のコツを抑えることで、どの児童も意欲的に取り組むことができた。
- ・字に自信がない子に鉛筆で下書きをしてあげることで、自分で文字を書かせ、どの子も自分で作り上げる達成感を味わうことができた。
- ・仕事の紹介だけでなく、その場で実演をしてもらえたので、マイスターさんの技術を感じることができ、児童が興味を持って取り組むことができていました。
- ・筆で字を書くという行為が書写でしかやっていないので、教えてもらった書き方を意識してフォントのように書くことが難しい児童が多いように感じた。各自の練習時間を設けてくださっていたが、練習の段階でポイントを意識できていなかったため、一緒にポイントを押さえながら書くと、もう少し自分で書ける児童が増えたのではないかと感じました。

児童生徒の感想

- ・講師の先生が何も見ずに「令和」などと、看板のような文字を描いていて、すごいと思った。
- ・表札を書くとき、名前の間隔や太さを一定にするのが、難しかった。
- ・話している途中などに写真や資料などを見せてくれて、とてもわかりやすかった。難しい言葉だけでなく、体験談を話してくれて良かったと思う。
- ・分からない子などに赤ペンなどで「もっとここをこうしたほうがいい」とわかりやすく、優しく教えてくれて良いと思ったし、色んな子に褒めたりしながら教えてくれて良かったと思う。
- ・好きなことを伸ばし続けることが仕事にもつながっていくことが分かった。
- ・指導者の方が、とても上手に描いていたのが心に残りました。

フラワー装飾会場の様子



先生の感想

- ・お花に興味がなかった子もこの体験を通して、またやってみたい、お花の名前を覚えてみたい、という気持ちを持つことができました。また、家族のために作成した子は「喜んでもらえそうで、作って良かった」など、持って帰れることを喜んでいました。
- ・質問コーナーでは、お花はどこで仕入れているのか、金額はどれくらいかかるのか、お店はどこにあるのか、どれくらいの期間お花の仕事をしているのか、などの質問があり、50年以上お店をやっている、それはお花が大好きだから続けてこられたんだよ、というお話を興味深く聞いていました。好きな事なら続けられる、自分のやりたいことを職業にしている、ということに特に子供たちは感銘を受けているようでした。

児童生徒の感想

- ・花を生けることがとても楽しかったし、置く場所によって花や葉の位置が変わってくるので、それを工夫しながら自分なりの装飾ができて嬉しかった。
- ・今回はクリスマスのツリー風にしたが、ほかの行事にも合わせて色々な装飾をやってみたい。
- ・先生の話聞いたら、50年近くやっているそうで「すごいな」と思っていたのだが、実際にフラワーアレンジメントを行っているところを見たら、素早くとてもきれいにできていた。先生のおかげで花の知識を付いた。
- ・あまりお花には興味はなかったが、いざやってみたらだんだん楽しくなってきて、やり終わったら「達成感があるな」「もっと作りたいな」などと思うようになった。

ロボットソフト組込会場の様子



先生の感想

- ・プログラミングに興味を持つ子どもが出てきた。子どもの興味や将来の夢を広げることができた。
- ・身の回りにはたくさんのプログラムをもとにしたものがあることを理解することができた。

児童生徒の感想

- ・今井さんの話がとても聞きやすく、分かりやすく、さすが先生だなと思った。青木さんがとても丁寧に教えてくれた。最後に「大きいロボットを操縦したことはありますか？」と質問がしたかった。
- ・ロボットのプログラミングをするときに、勉強の強化の必要さを教えてくれたり、自分が好きだったことから広げるということも学んだ。
- ・プログラミングを使って三角形を描くのは難しかったが、三角形の和を考えてやってみたら上手くできて、嬉しく、気持ちよかった。
- ・どんな質問でも、私でも分かりやすいように話してくださり、プログラマーという職への理解が深まった。